



アリと話してみよう!

2025年
5月24日(土)

理学部・動物学科
教授 村上 貴弘
アリ語で寝言を言ったあと

空気を
感じてみよう



2026年
3月14日(土)

工学部・機械システム工学科
准教授 岩野 耕治
乗り物のカタチのひみつ
～肌で感じる流体力学の世界～



3回参加で
修了証を
発行します

子供も大人も大歓迎!

岡山理科大学 市民公開講座

山の寺子屋で学ぼう!



農作物の
起源?

6月21日(土)

基盤教育センター
准教授 那須 浩郎
ヒトはなぜ農業を始めたのか?
～身近な作物の考古学から探る
栽培植物の進化と農業の起源～



宇宙の神秘を
体験

12月20日(土)

生物地球学部・生物地球学科
教授 福田 尚也
明るさが変わる星、変光星を探る

どこが
危ない?



7月5日(土)

生物地球学部・生物地球学科
教授 佐藤 丈晴
豪雨災害を生き抜く力
～自分と家族の命を守る減災術～

現地で
の解説
あります



11月1日(土)

工学部・建築学科
准教授 八百板 季穂
ここがポイント!
やさしい寺院建築のみかた

時間 13時30分～15時

会場 本学(一部現地集合)

参加費 無料(予約制・先着順です)

講座情報、参加申し込み方法は
右記 QR コードからご確認ください。



ロボドリル



8月9日(土)

工作センター
工学部・機械システム工学科
准教授 寺野 元規
ものづくり体験!
～コインのつくり方今・昔～

大人気!
今年も開催!



現地集合



9月6日(土)

ワイン発酵科学センター
名誉教授 星野卓二
ワイン用ブドウ新品種の育成
～岡山県特産の野生ブドウとマスカットを両親として～

新品種
ブドウ

色の不思議に
せまる



10月25日(土)

工学部・応用化学科
教授 草野 圭弘
備前焼の魅力



主催:岡山理科大学
後援:岡山市、倉敷市、岡山県市長会、岡山県町村会、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会

お問い合わせ
窓口

岡山理科大学 研究・社会連携部

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
TEL:086-256-9731
E-mail:renkei@ous.ac.jp
https://renkei.office.ous.ac.jp/



岡山理科大学
ホームページ

講座内容

2025年5月24日(土)

募集人数
30人

アリ語で寝言を言ったあと



アリがおしゃべりするって知ってましたか？僕が研究しているハキリアリは森から葉を切り出し、巣の中でキノコを栽培する「農業」をするアリです。人間以外にも農業をする生き物がいるだけでも驚きですが、なんとこのアリが非常におしゃべりだということが発見しました。アリたちは一体何を話しているのか？アリの「言語」を解明したら、人間社会にはどのような良いことが待っているのか？日本の大学で唯一ハキリアリを飼育している岡山理科大学で実際にハキリアリを見ながら、解説していきます！

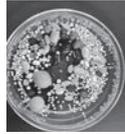
2025年6月21日(土)

募集人数
30人

ヒトはなぜ農業を始めたのか？

～身近な作物の考古学から探る栽培植物の進化と農業の起源～

私たちの食生活にはコムギ、ムギ、トウモロコシなどの穀物やダイズやアズキなどの豆類は欠かせません。しかし、これらの作物も元々は野生の植物でした。遺跡から出土する植物を調べると、これらの作物がいつ、どこで生まれ、そこからどのように農業が始まったのかを知ることができます。最新の考古植物学の成果から、世界の栽培植物の進化と農業の起源についての最近の学説を紹介いたします。実際に、縄文時代のダイズやアズキの炭化種子を観察したり、アワ・キビ・ヒエなどの雑穀の分類にもチャレンジしてもらいます。



2025年7月5日(土)

募集人数
30人

豪雨災害を生き抜く力

～自分と家族の命を守る減災術～

毎年のように発生する豪雨災害は、私たちに大きな課題を突きつけています。気象条件の変化により、豪雨や災害を完全に防ぐことは難しい今、「自らの命を自らが守る」という意識が求められています。本講演では、西日本豪雨の事例をもとに、日常生活で心がけるべきことや、周囲の大切な人々の命を守るために私たちができる減災対策について考えます。災害時に慌てず適切な行動を取るための知識と準備を、この機会に学びましょう。



2025年8月9日(土)

募集人数
20人

ものづくり体験！

～コインのつくり方今・昔～

普段使っているコイン(硬貨)はどのように作られているのでしょうか。記念コインづくり体験を通してコイン製造方法を説明します。また、レーザーによる加工体験も行います。安全確保のため、長袖・長ズボン・運動靴(サンダル・ハイヒールは禁止)、かつ、汚れても良い服装でご来場ください。



2025年9月6日(土)

現地集合

募集人数
30人

ワイン用ブドウ新品種の育成

～岡山県特産の野生ブドウとマスカットを両親として～

近年の猛暑により、ブドウの着色障害を受ける地域が拡大し、高温多湿の影響で病害の発生率が高くなっています。そこで、高温でも着色性に優れ、耐病性の遺伝子を持つ岡山特産のシラガブドウに注目し、交配により新品種を育成するプロジェクトが進められています。この講座では、倉敷市のふなおいナリーにおいて、野生ブドウと栽培ブドウの違いを説明した後、園場に出て新品種のワイン用ブドウ「マスカットシラガイ」を紹介いたします。



2025年10月25日(土)

募集人数
20人

備前焼の魅力

日本は「陶器の国」といわれるほど全国各地にやきものの産地がありますが、中でも六つ窯といわれる六つのやきもの産地があり、備前焼はその一つです。備前焼は約1000年の歴史がある、日本を代表する伝統工芸で、芸術性が高いやきものであることは勿論ですが、学術的にもおもしろいやきものです。備前焼の歴史、他のやきものとの違い、様々な色の発現機構を紹介いたします。



2025年11月1日(土)

募集人数
30人

ここがポイント！

やさしい寺院建築のみかた

古社寺が生み出す風情は、眺めているだけでも美しく感動するものですが、そこに、少しでも専門的なみかたを加えてみてはいかがでしょう？実は、社寺の年代は、虹梁や木鼻に刻まれる「絵様」と呼ばれる文様でおおよそ見分けることができます。この絵様のみかたの他、社寺建築をみる時のポイントを、やさしく解説します。体験コーナーでは、法界院へ移動して、寺院建築について現地で解説します。



2025年12月20日(土)

募集人数
30人

明るさが変わる星、変光星を探る

夜空におけるほとんどの恒星は明るさを変化させています。明るさが大きく変化する星を変光星といいます。変光星にはいろいろな種類があり、生まれてすぐの若い星も、最後の段階でも大きく変光します。講演では、変光星の仕組みと種類について説明します。岡山には国立天文台や公共の天文台が複数あり、最近では京都大学せいめい望遠鏡といった国内で最も大きい望遠鏡が作られています。アマチュアと連携している変光星の観測、岡山理科大学で取り組んでいる変光星の観測について紹介をします。



2026年3月14日(土)

募集人数
15人

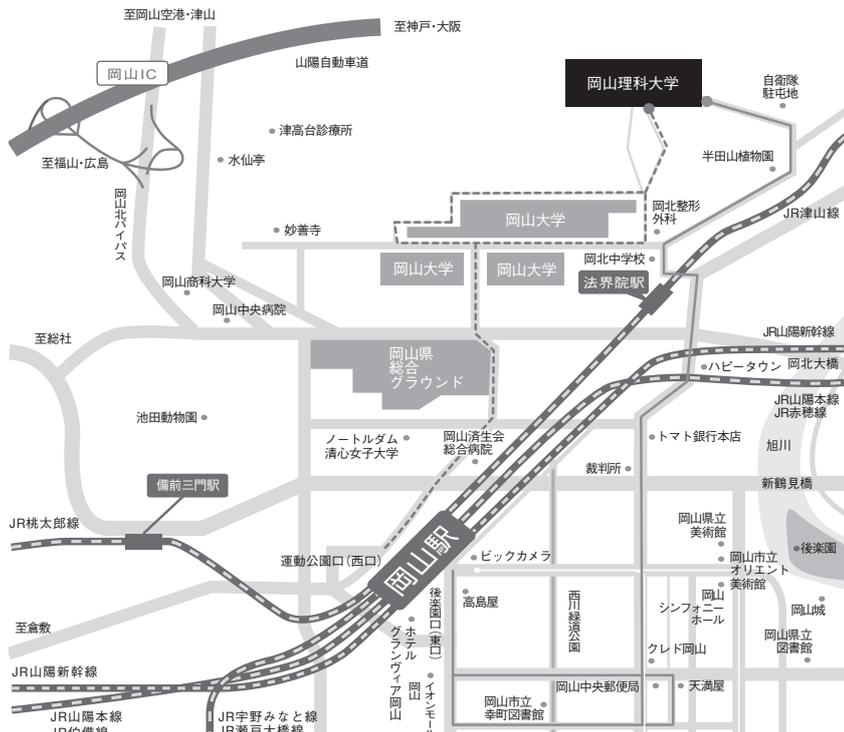
乗り物のカタチのみみつ

～肌で感じる流体力学の世界～

空気中を移動する乗り物には空気抵抗が働きます。燃費が良く、高速で移動できる乗り物を作るには、空気抵抗を小さくする工夫が必要となります。この講座では、物の周りを空気が流れるときに起こる現象について学び、それが自動車などの空力デザイン(空気抵抗が小さく安定性の高い形状に設計すること)にどのように生かされているかを紹介いたします。体験コーナーでは、空力デザイナーになったつもりで、自動車の粘土模型を作り、大型の風洞を使った空気抵抗の測定を体験していただきます。



アクセス



[路線バス]
 - 運動公園口(西口)⇄岡山理科大学
 - 後楽園口(東口)⇄岡山理科大学東門

- 正門着:JR岡山駅 運動公園口(西口)22番乗り場から岡電バス「47 岡山理科大学」行で約20分
- 東門着:JR岡山駅 後楽園口(東口)13番乗り場から岡電バス「37 岡山理科大学東門」行で約30分
- JR法界院駅から徒歩約20分
- 岡山インターチェンジから車で約15分

